



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第112号(2013年5月31日)



## 【ドバイ・グループの債務再編が進展】

ドバイの統治者に所有されている投資会社ドバイ・グループは、3年越しの交渉を経て銀行団と100億ドルの債務再編について合意しました。順調に進めば、金融危機以降のドバイの政府系企業の再編における大きなステップになると考えられています。

合意の内容によれば、ドバイ・グループは最大12年間に亘って、資産売却を進めて銀行団に支払いを行うこととなります。銀行団はシティグループ、フランスのNatixisの部門、地元のEmirates NBDなどから成ります。

以前合意に達した別の銀行団との債務再編の際は、1ドルあたり18.5セントの支払いで合意されましたが、今回は合意の条件は明らかになっていません。

金融危機以降ドバイの政府系企業の多くで債務の支払いに問題が生じていますが、今回のドバイ・グループよりも小さな案件では、債務再編の交渉は未だに続いています。たとえば皇太子妃が所有しているZabeel Investmentsや、ドバイ・ホールディングス(ドバイ・グループの親会社)の別部門であるDubai Holding Investment Groupは未だに銀行団と交渉を続けています。

最近の経済の回復により、ドバイでは新たな資金調達が可能ではないかという希望も出ています。ドバイの株式市場は年初来で30%以上上昇しており、ほかの貿易、観光関連の数値も上昇を示しています。金融危機以後にきわめて厳しい状況が続いた不動産市況についても回復の兆しがみられています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【エジプトが債券での資金調達を検討】

エジプトが早ければ2014年初めにも最大で120億ドルを債券市場で調達する計画を明らかにしました。エジプトが海外の債券市場で資金調達をするのはムバラク大統領が追放されて以来初めてのこととなります。

エジプト経済については悲観的な見方もあり、今回の資金調達が仮に成功しても一時しのぎにすぎず、また、資金調達計画も楽観的すぎるという批判も出ています。

一方で同国の外貨準備が危険な水準まで落ち込む中で、同国の株式市場は4月の安値から10%近く反発しており、同国に投資機会を見出している投資家もいるようです。

## 【カタールW杯の開催時期についての議論が再燃】

FIFAのブラッター会長が、カタールW杯について6月から7月にかけて開催するのは合理的ではないと発言して話題になっています。

カタール政府はすでに暑さ対策として最新鋭のエアコン設備を設けたスタジアムの建設を公約していますが、一方でワールドカップについては「スタジアムだけの問題ではなく、大会中に開かれる文化的、社会的な活動も含めてワールドカップである」という意見も出ています。

冬の開催にすることは可能なものの、その場合欧州のリーグから強い反対が出るのが予測される他、開催国であるカタール自身が冬への変更を申し出なければならないとされており、カタール政府はそのような申請はできないであろうという見方が大勢を占めています。

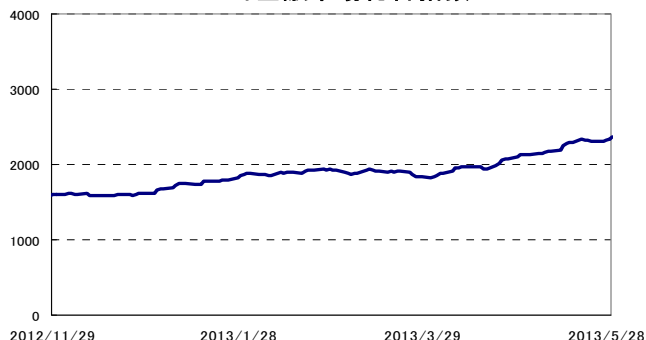


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

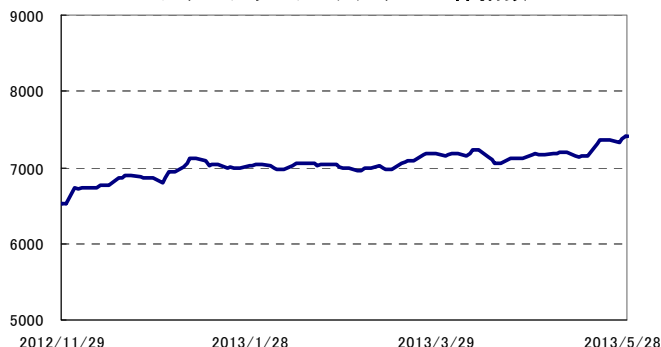


## 【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

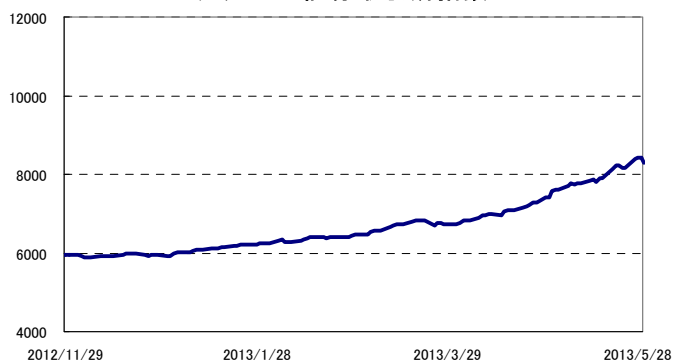
ドバイ金融市場総合指数



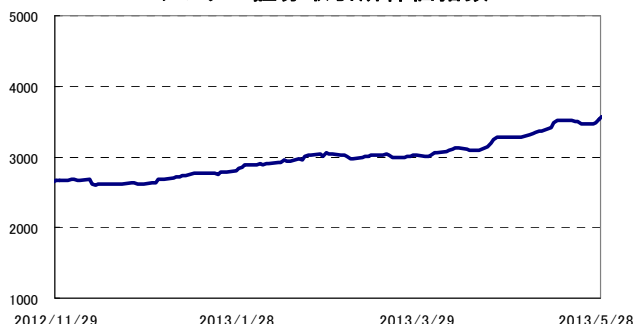
サウジアラビア タダウル全株指数



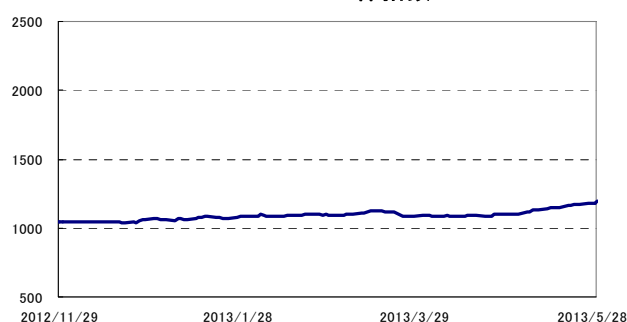
クウェート証券取引所指数



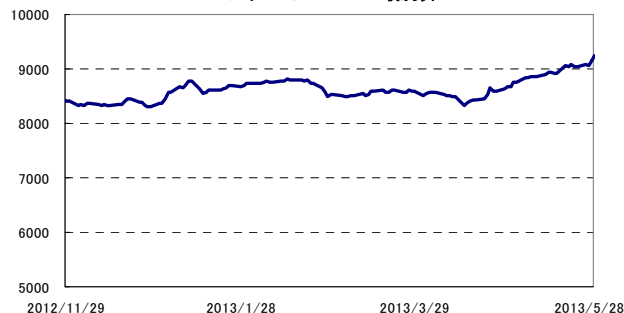
アブダビ証券取引所株価指数



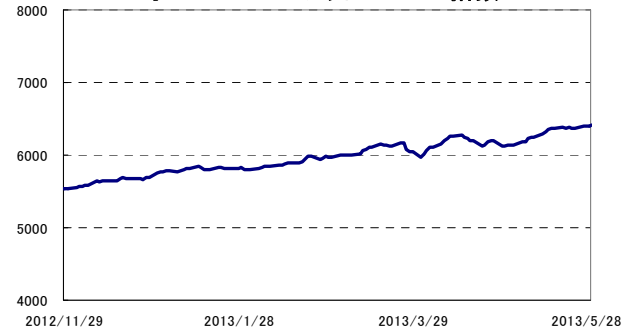
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。